

播磨町歴史 NEWS

まちの発展と文化財にまつわる秘話などを歴史ニュースとして紹介します。

▶問合せ 播磨町郷土資料館 学芸員 渡辺昇 ☎079 (435) 5000

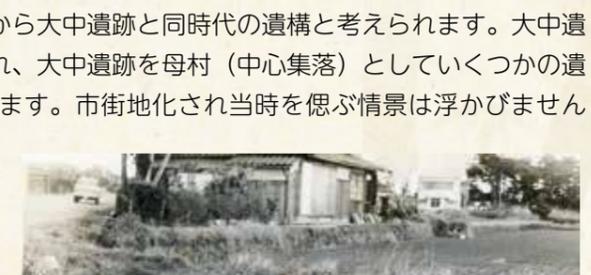
久しぶりの弥生遺跡の発見—本荘蓮花寺構居跡—

昨年の本荘蓮花寺構居跡の発掘調査では戦国時代の遺構以外に、古い遺構も調査することができました。古い様相を示す平瓦片が1点あり、古代のものかもしれません。須恵器も出土しています。古墳時代・弥生時代の遺構・遺物も確認しました。古墳時代の遺構は溝で釣鐘形のイダコ壺が出土しています。弥生時代の遺構は土坑と溝が確認されています。時期は弥生時代終末で大中遺跡と同時代です。土坑からは土器がまとまって出土しています。目立つ土器はイダコ壺で10個体以上保有していました。大中遺跡と比べるとやや小ぶりです。径も小さく細身で尖り気味の底で、色調も白っぽくなっています。

来年は大中遺跡発見55年を迎えます。播磨町内の弥生遺跡は2例目になりますが、以前に竪穴住居跡が確認されていたことを知りました。北野添の水田畦断面で竪穴住居跡の肩部とピットが確認されました。黒色土が埋土になっており、ピットも十分な規模・深度を持っています。状況から大中遺跡と同時代の遺構と考えられます。大中遺跡周辺に小集落が存在していたものと思われ、大中遺跡を母村（中心集落）としていくつかの遺跡（子村）が展開していたものと想像されます。市街地化され当時を偲ぶ情景は浮かびませんが、少し高い部分に小さな集落が幾つかあったのではないかと思います。これからも弥生時代の遺跡が新たに確認されるかもしれません。



▲本荘蓮花寺構居跡



▲北野添弥生住居跡

播磨ふれあいの家だより

4月のお花見会 参加者募集!

今年も竹田城跡を眺められるビュースポット「立雲峡」で、桜と竹田城跡を満喫していただくと考えています。多少山道を歩いていただくこととなりますので、靴は歩きやすいもので滑り止めがあるものを着用してください。(桜の開花時期は毎年同じではありません。したがって、桜の開花状況でお花見場所を変更することがありますのでご了承ください)



▲立雲峡駐車場の山の傾斜地全体が桜です

- ▶出発日 4月3日(月)、6日(木)、10日(月)
- ▶費用 3,500円
- ▶最低催行人員 10人



▶行程 土山駅10:00→播磨町役場10:10→各コミセン→市川PA11:00~11:10→ふれあいの家11:40→立雲峡12:00~13:30(昼食・弁当)→竹田桜並木→海鮮せんべい14:15~14:45→フレッシュあさご15:15~15:45→各コミセン→播磨町役場→土山駅17:30

※雨天の場合、弁当は播磨ふれあいの家でお召し上がりください。食事の後は付近の桜でお楽しみください。

▶申込み・問合せ 播磨ふれあいの家 ☎079 (678) 1481 朝来市多々良木1244-1

あんぜん・あんしん 暮らしのメモ帳



「二セの警告音にだまされないうで」

パソコンで動画を見ていたら、突然警告音が鳴り出し、止まらなくなった。パニック状態になり、画面に出ていた「対策をする」という表示のあった電話番号に連絡してしまつた。電話の相手が、1万円ほど払えば音を消してくれると言うので、仕方なくお願いし、クレジットカード番号を教えた。相手の指示に従いパソコンを操作した後、遠隔操作により警告音と画面は消えたが、不審である。

●パソコンでサイトの閲覧中に、突然、警告音が鳴り出し、「ウイルスに感染した」などという警告表示が表れたまま消えず、画面上の電話番号に連

絡させるように仕向ける事例が報告されています。音や画面表示が出て、とにかく慌てず、落ち着くことが大切です。

●画面の連絡先に電話をする

●警告音や画面を消すため「とウイルス対策ソフトなど」をインストールさせられ、料金を請求されることがあります。決して画面の連絡先に、電話をしてはいけません。

●警告音や画面を消す方法は独立行政法人情報処理推進機構(IIPA)のホームページが参考になります。

●困ったときは、お住まいの自治体の消費生活センターなどへ早めにご相談ください(消費者ホットライン188)。

※出典 (独国民生活センター「見守り新鮮情報270号」)

ご相談は…お電話ご来所どちらでもご相談ください。ご来所の場合は、住民グループ⑥番窓口にお声掛けください。

▼相談日時 祝日を除く毎週月～金曜日 午前9時～午後4時

※毎週月・火・木曜日には専門の相談員が相談に応じます。

▼電話相談・面談・相談予約 播磨町消費生活相談コーナー ☎079 (435) 1999